

安心・安全の科学研究教育センターニュース

Center for Risk Management and Safety Sciences

【目次】

- ❖ センターの活動紹介（高度リスクマネジメント技術者育成ユニット第三者評価／安全・健康・快適フェア参加／各種セミナー実施）
- ❖ 新しい教職員の紹介
- ❖ センターからのお知らせ（公開セミナーの予定／育成ユニット履修生募集）

第5号



センターの活動紹介

「高度リスクマネジメント技術者育成ユニット」 第三者による外部評価を実施

「高度リスクマネジメント技術者育成ユニット」では昨年度末に最初の修了生（修士レベル21名、博士レベル1名）を輩出しました。ユニットの事業がサイクルとして軌道に乗ったことを受け、現状の評価と今後の発展への示唆を得ることを目的に、自主点検活動の一環として学外（第三者）の有識者による評価を依頼・実施しました。岡村弘之先生（委員長、元東京理科大学学長）、関澤純先生（徳島大学教授）、増田優先生（お茶の水女子大学教授）、浜中順一氏（石川島播磨重工業株式会社顧問）、木下富雄先生（国際高等研究所フェロー）、稲垣敏之先生（筑波大学教授）の6名の学外委員からなる委員会を構成し、7月26日に（平成18年度）の第三者評価委員会を開催しました。これまでのユニットの取り組みについて全般的に肯定的な評価をいただくとともに、今後の更なる発展に向けた示唆に富むアドバイスを多数いただき、ユニットにとって非常に有意義な会合となりました。ユニットでは第三者評価でいただいたアドバイスを活かせるよう、カリキュラム・実施体制について継続して改善に取り組んでいきます。

安全 健康 快適フェアに参加

5月16日から18日にかけて東京ビッグサイトにおいて「安全・健康・快適フェア－安全衛生総合展2006－」（(財)全国安全会議、中央労働災害防止協会主催）が開催され、昨年に続き主催者からの要請を受けてブースの出展をしました。当センターのブースではセンターの活動や本学の安心・安全関連の研究教育について紹介するポスターの展示をはじめ、本学の「安心・安全関連の教員と研究の概要」等の各種資料の配布を行いました。来場者からは、社会人向けの公開講座などについての期待の声が多数聞かれました。3日間のフェアへの来場者は18,440名でした。

参考：http://www.jisha.or.jp/event_campagin/

公開セミナーを実施

文部科学省科学技術振興調整費による新興分野人材養成プログラム「高度リスクマネジメント技術者育成ユニット」の一環で下記の公開セミナーを行いました。

公開セミナー「地震災害のリスクマネジメント」-ライフラインのリスクマネジメント-（6月29日、工学部講義棟A201）

東京電力(株)の大橋裕寿氏から「東京電力の防災対策」、東京ガス(株)の中根宏行氏から「東京ガスの地震防災対策」のご講演をいただき、活発な議論が行われました。学内外から57名が参加しました。

公開セミナー「安全マネジメント-防護からレジリエンスへ-」 (Safety management・from protection to resilience) (8月25日、工学部講義棟A107)

リスクマネジメントの世界的権威であるフランス・エコール・デ・ミン・ドゥ・パリ(パリ国立高等鉱山学校)のErik Hollnagel教授から「安全マネジメント-防護からレジリエンスへ(英語)」のご講演をいただき、当センターの丹羽雄二助教授が日本語でフォローアップを行いました。学内外から52名が参加し、活発な議論が行われました。

学生および教職員向けセミナーを実施

学内セミナー「失敗知識データベースの活用」

(9月29日、総合情報処理センターパソコン教育室CD)

「失敗知識データベース」は、科学技術分野の事故や失敗の事例を分析し、得られる教訓とともにデータベース化したもので、(独)科学技術振興機構がホームページで無料公開(<http://shippai.jst.go.jp/>)しています。このデータベースの活用に関する講義と、1人1台のPCを使って、データベースを用いながら演習を行う学内向けのセミナーを実施しました。講師は東京工業大学の水谷義弘助教授、当センターの小林英男教授、田村昌三教授、古屋貴司講師が担当し、学内の安全意識の高い学生と教職員の方々53名が参加しました。

新しい教職員の紹介

石油タンク安全管理学分野

特任教員(教授) 亀井 浅道

前職：国際標準化機構(ISO) TC21 事務局長

長年消防研究所で石油タンク等危険物施設の安全性について研究して参りました。また、前職場においては、消防器具の ISO 化に関する事務に携わって参りました。今年の5月から当センターの「石油タンク安全管理学分野」で再び石油タンクに関する研究教育に参加させていただいております。当該分野の充実と発展に努力したいと思っております。

特任教員(教授) 吉田 聖一

前職：高知工業高等専門学校機械工学科教授

25年間石油タンク建設会社で構造解析業務に携わった後、5年間高知高専機械工学科で、材料力学、計算力学を担当し、この10月から当センターにお世話になることとなりました。石油タンクは国内に大小10万基近く有りますが、ほとんどが建設後20年以上経過しています。それらを事故を起こさず今後も使用するため、研究、技術開発、人材育成の一助を担います。

客員教授 河野 和間

前職：千代田化工建設株式会社 技師長、建設技術部長

この度、「浮屋根の強度信頼性評価」に関する調査・研究を、担当させていただくこととなりました。大型タンクの技術開発、各種タンク事故調査解析(水島重油流出事故、宮城県沖地震被害など)及び既存円筒タンクの供用適正評価等、鋼製円筒タンクに係って40年以上になります。これらの経験が少しでも、調査・研究の推進に寄与できれば幸いです。

特任教員(助手) 橋川 重郎

前職：日本高圧力技術協会特別研究員

平成18年5月より当センターの石油タンク安全管理学分野の所属となりました。タンクのセーフティマネジメントを行なうための基盤技術となる、タンク底部の余寿命予測ベース健全性評価システムの研究を行なっています。本研究を通じて安心・安全の科学の創生・発展に寄与できるよう頑張りたいと思います。

産学連携研究員 川手 裕

石油タンク安全管理学という分野に取り組みながら、その深遠さに圧倒される日々です。緊張感を持続させつつ、成果を以て社会貢献できるよう尽力致します。

産学連携研究員 朴 小順

6月より、センターに配置され石油タンクの安全管理の研究を行っております。知らないことの多い中、ユニットで学んだ知識を生かしていきたいと思っております。



高度リスクマネジメント技術者育成ユニット

技術補佐員 林 夕香子

高度リスクマネジメント技術者育成ユニットの教務関連業務を9月より担当することになりました、林(りん)夕香子です。宜しくお願い致します。

安心・安全の科学研究教育センター事務

事務補佐員 月山 智子

8月からセンターに勤務しております。沢山ある仕事を、一日も早く覚えて、センター運営に貢献できればと思っております。よろしくお願い致します。

センターからのお知らせ

安心・安全の科学研究教育センター 公開セミナー

「働く人々のための安全衛生マネジメントのありかた -働く人々の安全衛生確保のためのリスクマネジメント-

主催：安心・安全の科学研究教育センター

高度リスクマネジメント技術者育成ユニット実行委員会

日時：平成18年10月13日(金) 14:00~17:00

場所：教育文化ホール 大集会室 参加費：無料

内容：「働く人々の安全を確保するための基準の国際的な動向」(中央労働災害防止協会 国際安全衛生センター所長 守山栄一氏)、「働く人々の安全を確保するためにいま何をすべきか」(日本労働安全衛生コンサルタント会会長 沼野雄志氏)

参加申込：氏名、所属、住所、電話・FAX番号、E-mailをご記載の上、当センターまでFaxまたはE-mailで。

文部科学省科学技術振興調整費新興分野人材養成プログラム

高度リスクマネジメント技術者育成ユニット

履修生(大学院生)募集!

登録期間 : 10月2日~11日

問い合わせ : TEL 045-339-3772

募集要項配布：化学工学安全工学棟 306号室

<http://www.anshin.ynu.ac.jp/unit/home/index.htm>

『ご意見・ご質問、記事などをお寄せ下さい』

安心・安全の科学研究教育センターニュース

第5号 2006年10月1日発行

国立大学法人 横浜国立大学

安心・安全の科学研究教育センター

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

(化学工学安全工学棟 306, 503号室、共同研究推進センター303号室)

今年度中は建物改修工事のため上記に一時的に転居しています。

TEL: 045-339-3775, 3776(社会人教育, 研究開発ほか)

045-339-3772(高度リスクマネジメント技術者育成ユニット)

045-339-4444(内線 303)(石油タンク安全管理学分野)

FAX: 045-339-4294

URL: <http://www.anshin.ynu.ac.jp>

E-MAIL: anshin@ynu.ac.jp

